

KINDAI CARELINK



December.2021 Vol.24

KINDAI UNIVERSITY HOSPITAL 地域連携広報誌

さらなる高みへダビンチで挑む、

d a V i n c i X i
始動

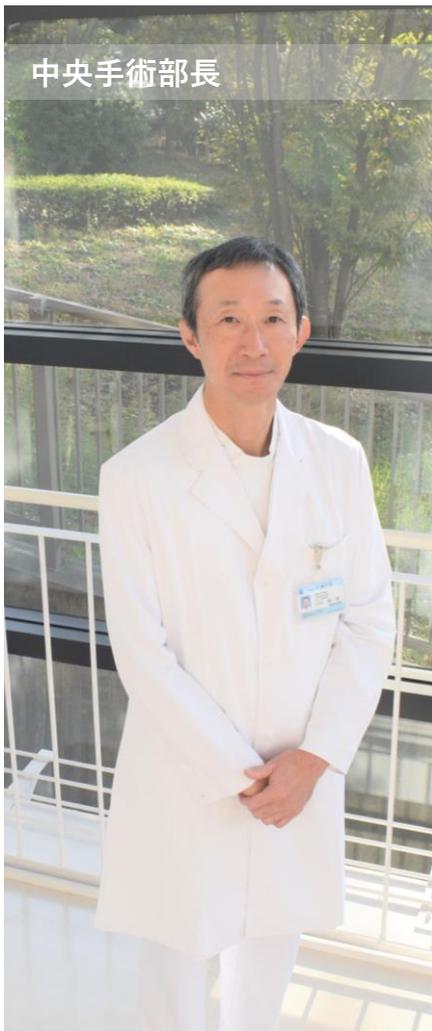


低侵襲外科手術



中央手術部
(中央手術センター・低侵襲外科センター)

中央手術部長



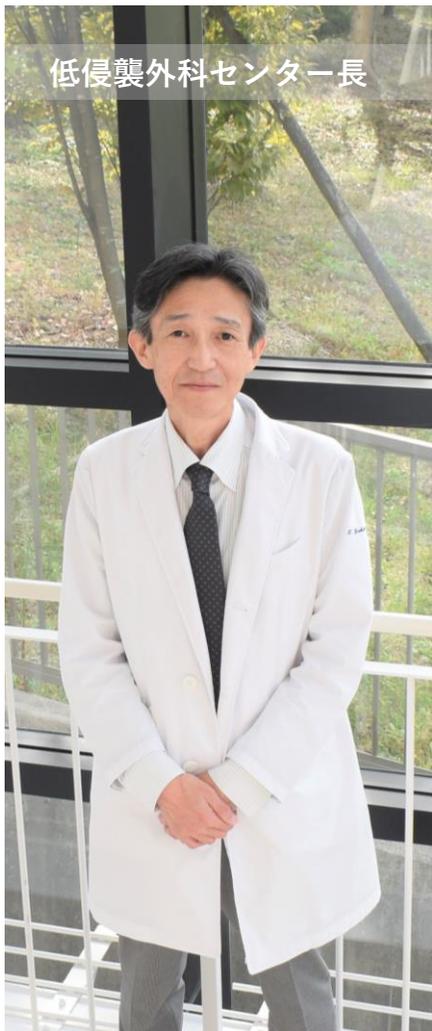
川村 純一郎
Junichirou Kawamura

Profile

1995年京都大学医学部卒業
京都大学医学部附属病院、松江赤十字病院
米国コーネル大学、
滋賀県立成人病センターを経て、
2019年当院下部消化管外科 主任教授

趣味：アウトドアスポーツ

低侵襲外科センター長



吉村 一宏
Kazuhiro Yoshimura

Profile

1986年和歌山県立医科大学卒業
大阪大学医学部附属病院を経て、
2014年当院泌尿器科 教授

趣味：読書・旅行

中央手術部副部長



中居 卓也
Takuya Nakai

Profile

1985年近畿大学医学部卒業
同院にて勤務、大阪府立羽曳野病院を経て、
2019年当院肝胆膵外科 教授

趣味：大阪城ランニング

前立腺摘除術（2021年9月現在）

368 例

泌尿器科では2014年2月から da Vinci Si サージカルシステムを用いたロボット支援下前立腺全摘除術を開始しています。2016年4月からは腎部分切除術（RAPN）も保険適用となり、2018年4月からは、膀胱全摘除術（RARC）が保険適用となっており、現在までに RAPN 104例、RARC 28例を施行しています。2021年7月から最新機種である da Vinci Xi を導入し、難易度の高い症例にも対応できるようになりました。

直腸切除術（2021年9月現在）

109 例

2018年4月にロボット支援下直腸切除術が保険収載され、当院では既に100例以上の患者さんに行っています。ロボット支援下手術では、人間以上の可動域のある関節機能や手ぶれ補正機能により、腹腔鏡下手術以上に繊細な手術が可能となり、がんの根治性だけでなく排尿・性機能などの機能温存が可能となります。

呼吸器・縦隔手術（2021年9月現在）

69 例

2019年7月より呼吸器外科においても、ロボット支援下手術を開始いたしました。ロボット支援下手術の適応は、肺悪性腫瘍（原発性肺がん・転移性肺がん）に対する肺葉切除術、肺区域切除だけでなく、良性及び悪性、縦隔腫瘍に対する切除術、重症筋無力症に対する拡大胸腺摘出術にも拡大しています。2021年9月30日時点で、69例（肺葉切除52例・区域切除4例・縦隔手術13例）を実施し、府下で2番目、関西地域で5番目に多い症例数です。

上部消化管外科 主任教授 安田 卓司

Profile

大阪大学医学部卒業。大阪大学医学部附属病院、大阪府立成人病センターを経て、2013年当院上部消化管外科 主任教授就任。現在は、副病院長として地域連携業務にも力をいれております。また、連携のとれたチームワークで、最先端の食道がん治療を行っております。



Q. どのような患者さんにセカンドオピニオンをお勧めしたいですか。

A. : 「切除不能」「手術に耐えられない」「併存疾患が多くリスクが高い」と説明を受けて可能性を閉ざされていませんか？正確な診断とチーム医療で結果を変えることもできます。「説明がわかりにくい」「説明に納得がいかない」「治療に不安がある」などで悩んでいませんか？複雑で、侵襲の大きな食道がん治療ですので、納得して治療に向き合うことが重要です。いつでもご相談いただければと思います。

セカンドオピニオン

腫瘍内科 医学部講師 川上 尚人

Profile

熊本大学医学部卒業。京都大学医学部附属病院、大阪赤十字病院、国立がんセンター中央病院、Mayo Clinic Rochester留学を経て、2017年より当院腫瘍内科 医学部講師。薬物療法・新規抗がん剤の臨床試験を専門分野とし、消化器がん・固形がんの患者さんにより良い治療を提供できるよう、治療・研究に主体的に取り組んでいます。



Q. オンラインセカンドオピニオンについて、お考えを教えてください。

A. : セカンドオピニオンによって主治医以外の専門家の意見を聞くことは、患者さんの意思決定にとって重要であると我々は考えています。オンラインにすることで、遠方であるなど様々な理由で来院が難しい患者さんにも無理なく気軽にご利用いただけるようになりました。当院で、治療する・しないに関わらず、建設的なオピニオンをご提供します。

腫瘍内科 主任教授 中川 和彦

Profile

熊本大学医学部卒業。熊本大学医学部附属病院、国立がんセンター、Medicine Branch、NCI、NIHを経て、2007年当院腫瘍内科 主任教授就任。現在は、副院長として当院の病棟管理部門を担当しています。また、肺がん・化学療法などを専門分野とし、がん患者さんの緩和医療、患者さん・家族とのコミュニケーションの促進を図ることによる全人的がん診療の実現に努めております。



Q. 当院のセカンドオピニオンの強みは？

A. : 私がセカンドオピニオンを受ける場合に気をつけていることは、①患者さん、ご家族が聞きたいこと、知りたいことの真意を理解すること、②現在通院しておられる病院や医師に対する配慮はせず、患者さんの最大利益のみを考慮すること、③治験や臨床試験も含めてできる限り多くの選択肢を提案することです。特に①については、ご自分でも意識されていない別のご要望を持っておられることもありますから、それを見逃さないように注意しています。

当院、セカンドオピニオンはオンラインでも可能です。
各科、専門の医師が対応しております。



消化器内科 医学部講師 竹中 完

Profile

近畿大学医学部卒業後、神戸大学医学部附属病院、淀川キリスト教病院、ジャカルタ・中国広州内視鏡教育指導を経て、2016年より当院消化器内科 講師。肝胆膵を専門とし、病棟医長として地域の病院・クリニックと連携を大切にしています。



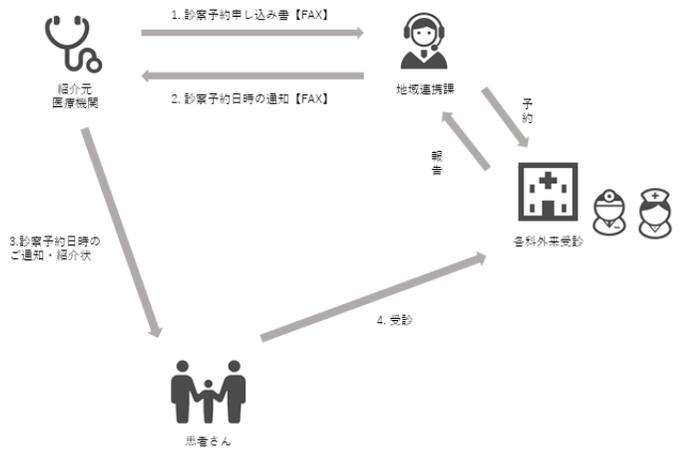
Q. セカンドオピニオンの際に心掛けていることはありますか？

A. : 些細なことでもご相談いただけるよう、患者さんが心を開きやすい環境を整えることを意識しております。ご自身の疾患について、その治療について、少しでもわからないこと、納得できないこと、不安なことがある患者さんには、ぜひセカンドオピニオンを受けていただくことをお勧めいたします。保険診療外の治験を含めた診療について、詳しく知りたい患者さんにもぜひセカンドオピニオンを受けていただき、情報入手をしていただければと思います。

紹介予約手続き方法

紹介予約手続きは紹介元の医療機関を通じて行って頂きますようお願いいたします。

1. 診察予約申込書に必要事項をご記入のうえ、地域連携課までFAXをお願いいたします。
2. 患者さんのご希望の日時で予約をとり、「診察予約日時の通知」をFAXにて返信させていただきます。
(平日20時まで対応いたします)
3. 患者さんに予約日時等をご説明いただき、診察予約日時のご通知・紹介状をお渡しください。



地域連携課

直通TEL 072-366-0241

FAX 072-365-7161

【受付時間 9:00-20:00】

(紹介予約に関するお問い合わせ)

緊急患者紹介方法について

地域連携課 【受付時間 9:00-17:00】

072-366-0257 直ちに専門医療が必要な症例、病院事務から専門医に電話回送

救命救急センター 【24時間体制】

072-366-0250 重度外傷・重症疾患、中毒・熱傷、その他の高度な救急医療

脳卒中コール 【24時間体制】

072-366-0920 脳卒中（発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、急性頭痛を呈する軽症から重症の患者）、くも膜下出血、脳腫瘍又はその疑い

ハートコール 【24時間体制】

0120-145-810 狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、大動脈解離又はその疑いなどの重症循環器疾患

周産期コール 【24時間体制】

072-366-0133 産科救急（母体救急、胎児救急）、婦人科救急

緊急時要請出動ドクターカーシステム

循環器疾患患者さんで緊急治療を要する場合、医療機関からの要請（相談）に応じ、医師がドクターカーに同乗し、患者さんをお迎えにあげます。

ハートコール 心臓血管センター 【24時間体制】

0120-145-810

心臓血管外科

072-366-0221 (内線3138)